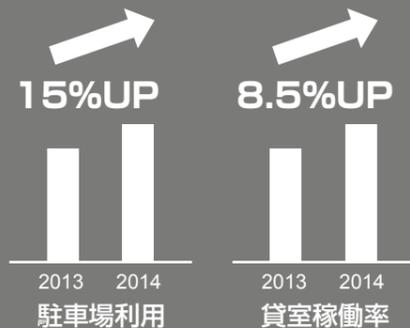


## 宝塚市立勤労市民センター指定管理事業報告

平成 26 年度より始まった宝塚市立勤労市民センターの指定管理事業は、順調にスタートしています。最初に取り組んだ駐車場 24H 化は、前年対比が 4 月 105%、5 月 115%とより多くの市民の方がご利用しやすいようになりました。また、「ご利用のてびき」の改変、屋内のグリーン化、軒先の花壇づくり、親子向け・シニア向けイベントの開催、珈琲サービス、リサイクル本棚の設置と多くの企画を行った結果、貸室利用は前年対比 4 月 102.7%、5 月 108.5%とご利用が増えています。職員の頭の中にはまだまだ多くの企画があるので、更なるセンターの活用を行い市民活動の一助になると確信しております。

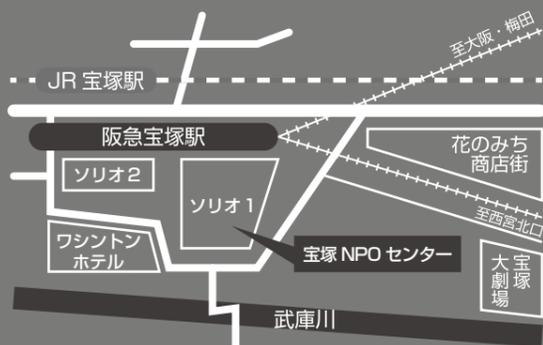


- |  |   |   |
|--|---|---|
| <p>新たに入会された皆さん<br/>賛助会員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大西 和昭</li> <li>・前田 敦司</li> <li>・NPO 法人 あん</li> <li>・天羽 望</li> <li>・内田 才子</li> <li>・保元 温</li> <li>・横山 宗助</li> <li>・金岡 重子</li> <li>・翁造 さいあ</li> <li>・松永 星子</li> <li>・中村 豪</li> <li>・北田 浩久</li> </ul> | <p>新たに入会された皆さん<br/>正会員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三原 伸也</li> <li>・吉野 茂子</li> </ul> | <p>寄付をいただいた皆さん</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・匿名希望 1 名</li> <li>・橘田 てつ子</li> <li>・山田 忠生</li> <li>・中山 修</li> <li>・崎本 明宏</li> <li>・鶴丸 梯二</li> <li>・菅原 美代子</li> <li>・山口 一史</li> <li>・(特選) ハートライフ福祉協会</li> <li>・掛水 すみえ</li> <li>・山口 耕平</li> <li>・中村 豪</li> </ul> |
|--|---|---|
- ご支援ありがとうございます。  
(順不同、敬称略 期間：平成26.6.15まで)

### 会員募集・継続のお願い

宝塚 NPO センターは、「市民が市民を支える社会」を作るために、市民活動の支援をしています。人がつながり仲間になる、仲間がつながり地域になる、地域がつながり社会になる、その全ての場面を支えるセンターでありたいと考えています。私たちの活動を、会員として一緒に支えて下さいますようお願いいたします。  
※認定 NPO 法人への寄付は税制面で優遇されます。

会費	個人正会員	団体正会員 (NPO 法人他)	法人正会員	賛助会員
	10,000 円		30,000 円	3,000 円
振込先	銀行振込		郵便振替	
	銀行名	三菱東京 UFJ		
	支店	阪急宝塚出張所		
	口座番号	普通預金 3629422	00930-8-77117	
	力 ナ	トクティヒエイリ タカラヅカエヌピーオーセンター	タカラヅカエヌピーオーセンター	
口座名義	(特) 宝塚 NPO センター		宝塚 NPO センター	



### (認定) 宝塚 NPO センター

〒665-0845  
兵庫県 宝塚市 栄町 2-1-1  
ソリオ 1-3F  
TEL: 0797-85-7766 FAX: 0797-85-7799  
E-mail: zukanpo@hnpo.net  
URL: http://hnpo.net/  
駐車場: ソリオ 1...30分 200円

発行人: 牧里 每治 編集人: 中山 光子

宝塚 NPO センターニュース  
**TAKARAZUKA  
NPO CENTER**  
市民の手で市民活動を支える

# NEWS

79

このニュースの編集、発送はボランティアの皆さんにご協力いただいています

2014.6

市民活動の中間支援として社会の声なき声に耳を傾け、埋もれがちな希望や願いを掬い上げ、先駆的・開拓的な事業に取り組めるセンターでありたいと願う。

オンラインで会員登録・寄付が出来るようになりました！



<https://mp.canpan.info/zukanpo/>

(認定) 宝塚 NPO センター 理事長 牧里 每治

# 平成26年度通常総会報告

日時：平成26年5月11日（日）14:00～15:30  
 会場：宝塚市立勤労市民センター  
 参加人数：正会員76名（うち委任状48名）  
 提案された議案・報告はすべて承認可決されました。



## 平成 25 年度特定非営利活動に係る事業会計

### 活動計算書

平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日まで

### 活動予算書

平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	決 算 額
I 経常収益	
1. 受取会費	1,130,000
2. 受取寄付金	889,649
3. 受取助成金等	11,650,000
4. 事業収益	1,111,383
5. 受託収益	43,167,286
6. その他収益	221,424
経常収益計	58,169,742
II 経常費用	
1. 事業費	
(1) 人件費	35,147,684
(2) その他経費	19,431,455
事業費計	54,579,139
2. 管理費	
(1) 人件費	433,028
(2) その他経費	2,420,641
管理費計	2,853,669
経常費用計	57,432,808
税引前当期正味財産増減額	736,934
未払法人税等	82,000
当期正味財産増減額	654,934
前期繰越正味財産額	17,143,947
当期正味財産合計	17,798,881

(単位：円)

科 目	予 算 額
I 経常収益	
1. 受取会費	1,500,000
2. 受取寄付金	1,030,000
3. 受取助成金等	8,900,000
4. 事業収益	18,944,000
5. 受託収益	47,240,920
6. その他収益	752,000
経常収益計	78,366,920
II 経常費用	
1. 事業費	
(1) 人件費	43,412,529
(2) その他経費	22,528,847
事業費計	65,941,376
2. 管理費	
(1) 人件費	526,000
(2) その他経費	11,227,370
管理費計	11,753,370
経常費用計	77,694,746
税引前当期正味財産増減額	672,174
未払法人税等	82,000
当期正味財産増減額	590,174
前期繰越正味財産額	17,798,881
当期正味財産合計	18,389,055

## 平成 26 年度事業体制 「高い山を楽しく登る 1 年に」

誰でもが何らかの課題を抱えながら生きているこの時代。平坦な道を楽しみ進むのではなく、見上げるような山を見て立ちすくむのでもなく、高い山を楽しく登る気持ちで下記 6 分野に再編成した課題に取り組む所存です。

**協働の場づくり**

まちづくりを志す市民が安心して活動できるよう地域に対話を生み、考え、お互いの理解を進める社会を作ります。

- ・市民活動促進支援事業
- ・ひょうごアドプト推進事業

**若者就労支援**

若者が自分に自信を持ち、就労することで社会に参加することを支援し、事業者はもとより多くの市民に現在の若者が抱えた課題を伝え理解者を増やします。

- ・宝塚市職場体験付若者就労支援事業
- ・伊丹市若年者就労サポート事業
- ・地域若者サポートステーション事業

**人と組織づくり**

相談者の 1.5 歩先を一緒に考える姿勢を大切に、コミュニティビジネスや NPO 活動を通じて誰でもが主役として参加できる社会を作ります。

- ・生きがいしごとサポートセンター事業
- ・生きがいしごとサポートセンター全県活性化事業
- ・宝塚市地域人づくり事業

**中間就労の場づくり**

「働くこと」に一步を踏み出せない若者が社会とかわる場を作ります。

- ・カフェ事業

**地域づくり**

参加型の施設管理運営を通じて、新しいコミュニティをかたち作っていきます。

- ・宝塚市立勤労市民センター指定管理事業

**市民ネットワークづくり**

中間支援 NPO としてそれぞれのセクターを結びつけるネットワークの推進に力をいれ、安全で安心な社会を作ります。

- ・情報提供、講演
- ・東日本大震災支援
- ・阪神淡路大震災啓発
- ・ネットワーク事業

## コラム

### 「サイレント・プアを顧みる」

サイレント・プアをご存じだろうか。この4月から始まったNHK毎週火曜日9回シリーズ・ドラマ10の番組タイトルだ。深田恭子主演のコミュニティ・ソーシャル・ワーカー(CSW)物語である。ソーシャル・ワーカーが脇役で出る番組ドラマは無いわけではないだろうが、主役で採り上げられた例をあまり知らない。東京下町を舞台にゴミ屋敷の高齢者やひきこもりの青年たちの支援を社会福祉協議会(社協)に勤務するCSWの里見涼が市役所の地域福祉課職員や民生委員、近隣住民たちと協力し合って支援するストーリーである。さりげなく地域福祉や社協の看板が映像の背景に登場し、社協やCSWの言葉が台詞に出てくるのは地域福祉に関係する視聴者の一人として嬉しくもあり、面はゆくもある。

ご覧になった方の反応がどのようなものなのか見当がつかないが、制度の谷間に落ちこぼれて、福祉関係者や行政職員の訪問を拒んだり、近隣住民とトラブルを起こしていたり、あるいはセルフ・ネグレクト(自己放棄)によるひきこもりのため存在すら無視されているなど接近困難なケースにソーシャル・ワーカーがどう向き合うかは現代的課題である。

やや誇張されて脚色された筋書だという面もないではないが、現実におきている生活困難への取組であり、物言わない住民が想像以上に現代社会に存在していることの警鐘にはなっている。このCSWが活躍するシナリオの素材は、実際に関西で取り組まれている実話である。貧困の諸相には経済的貧困だけでなく、健康問題や文化的貧困など複合的に課題を合わせ持つことが古くから指摘されてきたが、今日的な様相としては社会保障制度や社会福祉制度が生活困窮者を結果として排除してしまうという矛盾がある。貧困は伝統的には個人の責任とされ、そのイデオロギーとの闘いの繰り返しの結果、社会保障や社会福祉が制度化され、福祉国家の基礎として確立されたにもかかわらず、生活技術の未熟さや意思疎通の困難さ、人間関係のつまずきなど個人的属性をきっかけに無縁社会の谷底に社会的に脆弱な人びとを引き込んでしまうのが現代的貧困である。サイレント・プアとは、まさに市民社会の基盤である社会関係の崩壊や弛緩がある特定の階層を静かに何事もなかったかのように貧困と絶望の淵に陥れてしまう怖さを表している。

宝塚NPOセンターが取り組んでいる若者サポートステーション事業は、ほんのわずかのサイレント・プアに向き合う仕事にしか過ぎないかもしれない。でも、一人でもワーキング・プアやネット難民になりかねない若者を支援する市民の理解と協力がなければ、底の抜けそうな日本社会を変える第一歩にはならないのである。宝塚NPOセンターは社会福祉の専門機関ではないが、市民活動の中間支援機関として社会の声なき声に耳を傾け、埋もれがちな希望や願いを掘り上げ、先駆的・開拓的な事業に取り組めるセンターでありたいと願う。

理事長 牧里 毎治

## 宝塚市との協働事業

### 宝塚市第5次総合計画・後期基本計画事務局を担います

7月から、宝塚市第5次総合計画・後期基本計画の市民検討委員会が始まります。5年前の前期基本計画に引き続き、宝塚NPOセンターは宝塚市と共に事務局を担います。後期基本計画がカバーするのは2016年～2020年の5年間。わたしたち宝塚のありたい姿を話し合う場づくりを支えます。